

## 山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

1. 募集人員：助教1名
2. 所 属：山口大学 大学院創成科学研究科 工学系学域 知能情報工学分野
3. 学部担当学科：工学部 知能情報工学科
4. 専門分野：知能工学分野（人工知能、機械学習、ソフトウェアコンピューティング、パターン認識、ビッグデータ解析、データサイエンス、統計科学、知覚情報処理、バイオインフォマティクス、知能ロボット、エージェントシステム、適応システム、最適化理論、創発システムなど広く知能化技術に関連する分野）
5. 担当科目：(1) 情報工学に関連する実験・演習科目  
(2) 共通教育科目
6. 任 期：5年、1回に限り審査により再任可
7. 応募資格：
  - (1) 博士の学位を有すること又は着任までに取得見込みであること
  - (2) 上記の専門分野に関する研究実績を有し、今後も研究と教育に熱意があること
  - (3) 上記の科目及び学部の基礎教育を担当可能であること
  - (4) 学部生及び大学院生の教育と最先端研究の推進に意欲的であること
8. 待 遇：給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。
9. 着任時期：令和6年9月1日以降の早い時期
10. 応募締切：令和6年3月29日（金）（必着）
11. 提出書類：
  - (1) 履歴書(写真貼付、現住所、生年月日、学歴、職歴、連絡先、電子メールアドレス等を記載のこと)
  - (2) 研究業績リスト(年代順に、学術論文、国際会議論文、所属学会、著書、解説、その他の研究発表、特許等のリスト。共著者名は全て記入し、論文は査読の有無により分けること)
  - (3) 主要論文別刷(5編以内、コピー可)
  - (4) その他の参考となる情報（教育、外部資金の獲得状況、所属学会、受賞、学会や社会における活動等）
  - (5) 着任後の教育及び研究についての抱負(各1,000字程度)
  - (6) 意見を伺える方2名の氏名と所属及び連絡先(電話番号、電子メールアドレス)
12. 選考方法 書類選考の後、面接(プレゼンテーションを含む)を行います。  
なお、その際の旅費・宿泊費は、自己負担となります。
13. 書類送付先及び本件に関する照会先  
〒755-8611 山口県宇部市常盤台二丁目 16-1  
山口大学工学部知能情報工学科  
学科長 間普 真吾  
e-mail: mabu@yamaguchi-u.ac.jp、Tel: (0836)85-9519  
\*書類は封筒に「教員（助教）応募書類在中」と朱書の上、簡易書留で郵送してください。  
\*Eメールにより提出された書類は受け付けません。
14. その他  
\*提出書類は返却いたしません。  
\*提出書類により取得する個人情報、採用者の選考及び任用等の手続きを行う目的で利用するものであり、この目的以外で利用及び提供することはありません。  
\*山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。  
\*本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しています。  
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

## 山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

### 研究についての支援

#### 研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

#### 研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

#### 女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

#### 留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

### 子育てや介護についての支援

#### 学童保育 ヤマミィ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

#### たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名  
病後児保育3名

#### 企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

#### 病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様 が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

#### 学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

#### 介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】  
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】  
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

#### カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索